

# 移い動どう市し長ちやう室しつ

## 筑紫野市内五中学校PTA役員(さくらの会) 子どもを笑顔にするPTA活動って?!

通算87回目となる移動市長室を、2月8日(金)に開催しました。筑紫野市内五中学校PTA役員と懇談を行い、20人の出席がありました。



市内五中学校のPTA本部役員が集まりである「さくらの会」は、情報交換をはじめ、活動の活性化や生徒の健全育成、課題解決に向けた取り組みを連携して実施しています。

今回は、事前に活動内容などについて各校PTAにアンケートを行い、各校の特徴的な取り組みについて報告を受け、交流を行いました。

### ボランティアでの環境づくり

筑山中学校PTAからは、美化活動について報告がありました。以前から



草刈り・花壇整備などを行っているが、他にも子どもたちが落ち着いて授業に臨める環境の整備を手伝うことができなにか検討し、きれいな学校であれば子どもの笑顔や精神的安定、学習意欲の向上につながるということ、教室以外の箇所は賛同してくれるボランティアで整備しようという発案で、トイレ清掃を実施したことや廊下の壁のペンキ塗りの計画などの発言がありました。

### お互いがお互いを思い合い

二日市中学校PTAからは、継続的

な改善についての報告がありました。活動内容が皆が参加できるようなものになっているか、今までの活動の慣習を見直し、無理のない活動であるか、人員配置は適当であるかなど一つ一つの考え、多くの保護者が関われるようにしていること、やれる人がやれるときに無理をせず、お互いにサポートすることで活動の負担を減らし、運営効率もよくなっていることなどの発言と事例紹介がありました。

### 地域とふれあい、感謝、根付かせる

天拝中学校PTAからは、積極的な地域貢献活動について報告がありました。コミュニティ・スクール1年目は何をしたいか生徒任せ・地域任せで困惑もあったが、今ではお互いに接し方を学習し、よい形で活動ができるようになったこと、今年度は保護者にもイベント係として一人一役を設け子どもたちと共有してもらいたいと実施したところ好評であったこと、今後は防災・防犯活動の手伝いについて検討していることなどの発言がありました。



## 活動を広く知ってもらうために

筑紫野中学校PTAからは、広報の充実や工夫についての報告がありました。PTA新聞には、主に子どもたちの活動を掲載していたが、PTA活動も掲載してはどうかと検討した結果、子どもが載っているのを見たい人もいるため半々にしたこと、体育会競技にPTAが参加し、部活動対抗リレー、フォークダンスなどにより子どもも大人も笑顔の様子を掲載できたこと、また、ホームページについても掲載して情報発信を行ったことなどの発言がありました。

## 初めての共同開催

筑紫野南中学校PTAからは、筑紫野南コミュニティ文化祭について報告があ

りました。中学校の文化祭・部活動バザーと筑紫野南コミュニティ運営協議会の文化祭をコミュニティ・スクールの一環として一緒にできないかと今年度初めて取り組んだこと、運営主体は協議会で、1日目は中学校、2日目はコミュニティセンターを会場として開催したこと、初開催による課題を調整し、お互いの理解が深まった来年度はよりよいものになると感じているなどの発言がありました。

## 経験者としての思い

各校からの報告を受け、市長からは感想や教育施策についての発言がありました。

「PTAは、やればやるほど仕事はあり、きつい思いをした人はやりたくないということもあります。しかし、皆で分

かち合って楽しくという姿勢は重要であり、子どもの笑顔だけでなく大人が笑顔にならないといけない、と私も経験から思います。また、どの学校もコミュニティ・スクールの中で中学生たちが夏祭りをはじめ地域に非常に貢献してくれていて、地域から頼りにされ、それを喜びとして活躍しています。筑南文化祭では私も生徒たちのいきいきとした姿を目にし、画期的な地域貢献であったと感じました」

さまざまな意見交換をしながら、参加者で認識を深めることができました。懇談の中での意見は、今後の市政に生かしていきます。

## 参加者からの感想

- ・初めての参加でしたが、皆さんとの距離感がほどよく、他校の取り組みもよく理解できました。通常のPTA活動だけでは触れることのない体験となりました。PTAのOBという藤田市長のお話が心に残りました。
- ・自分たちのPTA活動が市政の役にも立っていると感ずることができた時間でした。

## 藤田市長の一言

「子どもを笑顔にする」というテーマで懇談させていただきました。これが皆さんの本来の思いであらうと思います。と同時に、活動内容をお聞きしても、さくらの会の皆さんがそれぞれの学校を思いやって、それぞれの協力を体制の中で、筑紫野市の五中の生徒たちを笑顔にしようと、そして、自分たちもその仲間として、ともに手をつなぎながらつくり上げていくという営みがよく分かりました。和やかな中に有意義な意見交換をさせていただきます。皆さん、本日はどうもありがとうございます。

